



株式会社 **天満屋ストア** 証券コード:9846

第54期報告書

2022年3月1日 ▶ 2023年2月28日



天満屋ハピータウン西大寺店(岡山市東区)



天満屋ハピーズ山陽店(岡山県赤磐市)



天満屋ハピーズ卸センター店(岡山市北区)



天満屋ハピーズ笠岡美の浜店(岡山県笠岡市)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社第54期(2022年3月1日から2023年2月28日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概況についてご報告申しあげます。

1. 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第6波から第8波による感染拡大はあったものの、行動制限の緩和により社会経済活動の正常化が徐々に進んだことで景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格、原材料価格高騰の影響などにより先行き不透明な状況が続きました。

小売業界におきましても、食料品は昨年の内需需要の反動を受け一方、衣料品・生活用品は行動制限解除を受けた人流回復や政府の経済施策による販売が一時的に伸びたものの、物価上昇による家計の生活防衛意識が強まり依然として厳しい環境が続いております。

こうしたなか、当社グループは、ポストコロナの新常態を見据えた変化対応を最重点に取り組みとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。また、4月に株式会社まちケア(岡山県倉敷市)への出資による地域社会貢献や持続可能な社会に向けた取り組みを進めるほか、7月に株式会社三好野本店(岡山市中区)の完全子会社化によりグループ各社との連携をさらに深くグループシナジーの創出に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は577億35百万円(前期は671億27百万円)、経常利益は20億99百万円(前年度比14.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億67百万円(同1.2%増)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、当連結会計年度の営業収益は121億15百万円減少しております。

セグメントの概況は次のとおりであります。
(小売事業)

小売事業につきましては、スーパーハッピープライスによるEDLP(低価格戦略)の強化やシンプルでわかりやすい曜日販促およびハッピーカードの新販促に取り組みとともに、ウィズコロナのもと短時間や非接触でのお買物ニーズにあわせスマートレシートの導入やキャッシュレス決済の推進を目的としたキャッシュレス専用セルフレジの設置、ネット販売の拡大、清潔な店舗環境の整備を継続し感染防止策を徹底いたしました。



取締役社長 野口 重明

また、2022年3月に総社溝口店(岡山県総社市)の全面改装、高梁店(岡山県高梁市)にホームファニングストア[ニトリ]を導入するほか、4月に岡南店(岡山市南区)に生活雑貨専門店「ロフト」、7月にマタニティ&ベビー・キッズ専門店「アカチャンホンポ」、11月に岡北店(岡山市北区)に衣料品・生活雑貨・食料品販売の「無印良品」を導入、2月に卸センター店(岡山市北区)を全面改装するなどお客様ニーズの対応を図るとともに、既存店舗の活性化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の小売事業の売上高は483億73百万円(前期は589億77百万円)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は121億85百万円減少しております。
(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、急激な原材料価格高騰の影響を受け厳しい経営環境が続くなか、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化に取り組んでまいりました。また、7月に完全子会社化した株式会社三好野本店における販路拡大などグループ各社の連携を深め、生産性向上を進めました。

この結果、当連結会計年度の小売周辺事業の売上高は62億6百万円(前期は50億61百万円)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は1億6百万円減少しております。

トピックス

2. 対処すべき課題

今後の見通しといたしましては、ポストコロナにおける景気の見直しに期待が寄せられるものの、原材料価格やエネルギー価格の更なる高騰を受けた消費者の生活防衛意識による消費マインドの低下が懸念され、さらには、世界的なインフレと不安定な為替相場や金融政策などに注視が必要であり、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような厳しい環境のなかで、営業力の強化と収益力の向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化および持続可能社会の実現にも注力してまいります。

小売事業につきましては、原材料価格高騰による生活防衛意識への対応としてスーパーハッピープライスやセブンプレミアムの拡充および拡販のほか、地産地消・地元銘品の販売を通じた地域活性化に努めてまいります。販売力およびサービス向上として、ポストコロナにおける価値観や消費行動の変化による短時間や非接触でのお買物ニーズの対応を継続し、キャッシュレス決済の推進、ネット販売の拡大に努めるほか、安全安心なお買物いただける清潔な店舗環境の整備を継続するとともに、Edyのキャッシュレスチャージが可能となったハッピーカードの活用やシンプルでわかりやすい販促に取り組んでまいります。また、GMS店舗への大型テナント導入やSM店舗改装による既存店舗の活性化を推進するほか、子会社各社および株式会社天満屋、株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの業務提携によるシナジー効果の創出を深耕してまいります。

さらに、AIを活用したLSP(作業計画書)、自動発注の精度向上、新たな省力機器導入によるさらなる生産性向上に取り組んでまいります。また、従業員が健康で意欲的にかつ働きやすい職場環境の整備に加え、階層別教育の充実によるキャリア形成を図り次世代の人財育成に注力するなど人的資本経営を推進してまいります。加えて、プラスチック使用量の削減や太陽光パネルの設置による省エネルギーおよび再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した取組み、地域社会との協働による地域の活性化を推進するとともに持続可能社会の実現を目指してまいります。

小売周辺事業につきましては、品質管理と衛生管理を一層強化するとともに、多様なニーズに対応し、商品開発力の強化や生産性の向上に努めるとともに、さらなるグループシナジーの創出に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年5月

天満屋ハッピータウン岡北店「無印良品」オープン



2022年11月3日に岡北店(岡山市北区)2階に「無印良品」がオープンいたしました。県下最大級の売場面積に衣服雑貨、生活雑貨、本、食料品を取り揃え、また、岡山県で唯一、購入した商品にお好きな刺繍を有料で入れることができるサービスも提供されます。引き続きお客様の多様なニーズにお応えし、毎日の生活をさらに豊かにできるよう魅力あるテナントの導入を進めてまいります。

「天満屋ハピーズ卸センター店」改装オープン



2023年2月16日に卸センター店(岡山市北区)を改装オープンいたしました。地域にお住いの子育て世代およびファミリー層に向けた子育て応援の情報発信や商品の充実による来店促進の実施、産地や鮮度にこだわった商品の提供、キャッシュレス専用セルフレジの導入、環境にやさしい設備を導入するなど地域のお客様の利便性向上や毎日の生活をさらに豊かにできるよう取り組んでまいります。

業績ハイライト

2022年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、「事業セグメントの売上高」について参考として従前の計上方法による売上高等を記載しております。
また、「営業収益(売上高および営業収入)」につきましては、従前の計上方法による営業収益の単体は63,655百万円、連結は69,850百万円となります。

■ 事業セグメントの売上高

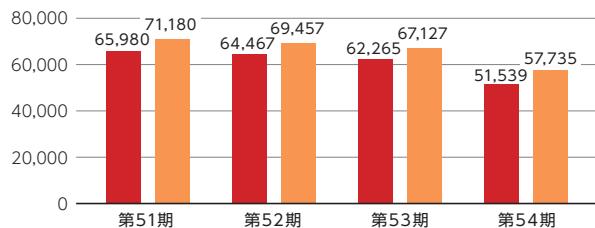
(単位:百万円)

事業セグメントの名称	2021年度		2022年度 (当連結会計年度)		2022年度(参考) (当連結会計年度)		前期比 増減率	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
小売事業	食料品	46,985	73.4	43,210	79.2	46,520	69.6	△ 1.0
	生活用品	6,122	9.6	1,059	1.9	6,676	10.0	9.1
	衣料品	5,737	8.9	2,759	5.0	6,013	9.0	4.8
	その他	132	0.2	1,343	2.5	1,347	2.0	918.1
	小計	58,977	92.1	48,373	88.6	60,558	90.6	2.7
小売周辺事業	5,061	7.9	6,206	11.4	6,312	9.4	24.7	
合計	64,039	100.0	54,579	100.0	66,870	100.0	4.4	

■ 単体 ■ 連結

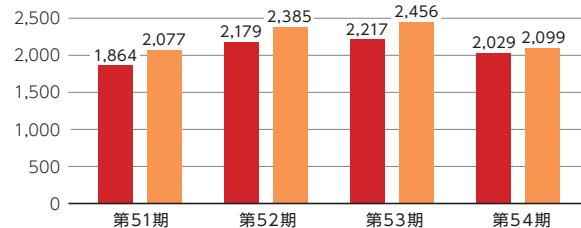
営業収益(売上高および営業収入)

(単位:百万円)



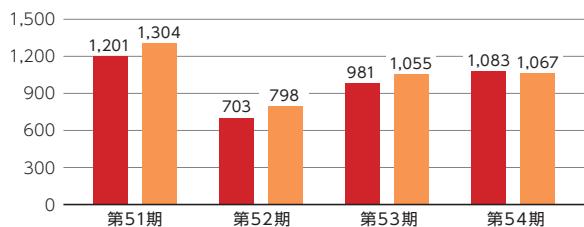
経常利益

(単位:百万円)



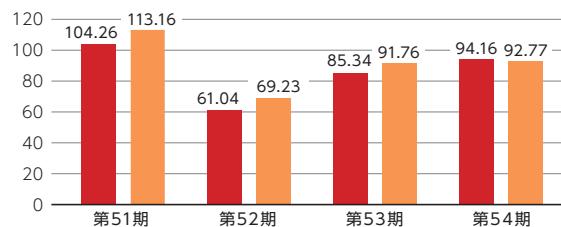
当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



(注)連結は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示します。

連結財務諸表(要約)

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2022年2月28日現在	2023年2月28日現在
資産の部		
流動資産	5,394,068	5,765,846
固定資産	37,861,519	38,006,522
有形固定資産	27,496,799	27,607,899
無形固定資産	2,621,246	3,038,188
投資その他の資産	7,743,473	7,360,433
資産合計	43,255,587	43,772,368
負債の部		
流動負債	11,887,524	12,969,626
固定負債	8,709,409	7,091,542
負債合計	20,596,934	20,061,169
純資産の部		
株主資本	22,723,246	23,735,438
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	13,739,231	14,737,396
自己株式	△ 61,236	△ 47,208
その他の包括利益累計額	△ 96,073	△ 58,053
その他有価証券評価差額金	42,995	55,312
退職給付に係る調整累計額	△ 139,068	△ 113,365
非支配株主持分	31,480	33,814
純資産合計	22,658,653	23,711,199
負債純資産合計	43,255,587	43,772,368

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2021年3月1日から 2022年2月28日まで	2022年3月1日から 2023年2月28日まで
売上高	64,039,070	54,579,555
売上原価	47,684,705	38,843,774
売上総利益	16,354,365	15,735,781
営業収入	3,087,981	3,156,254
営業総利益	19,442,346	18,892,035
販売費及び一般管理費	17,294,694	16,828,245
営業利益	2,147,652	2,063,790
営業外収益	387,812	125,093
営業外費用	78,905	89,007
経常利益	2,456,559	2,099,876
特別利益	59,939	4,643
特別損失	916,165	427,642
税金等調整前当期純利益	1,600,333	1,676,876
法人税、住民税及び事業税	739,648	574,851
法人税等調整額	△ 200,401	29,830
当期純利益	1,061,086	1,072,194
非支配株主に帰属する当期純利益	5,891	4,733
親会社株主に帰属する当期純利益	1,055,194	1,067,461

(注) 1.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
2.当連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値を記載しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2021年3月1日から 2022年2月28日まで	2022年3月1日から 2023年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,159,044	3,643,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,440,205	△ 885,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,206,143	△ 2,489,989
現金及び現金同等物の増減額	△ 487,305	268,067
現金及び現金同等物の期首残高	1,041,253	553,948
現金及び現金同等物の期末残高	553,948	822,016

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表（要約）

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2022年2月28日現在	2023年2月28日現在
資産の部		
流動資産	4,923,132	5,653,918
固定資産	37,328,807	36,678,916
有形固定資産	26,891,299	26,124,585
無形固定資産	2,612,988	2,488,107
投資その他の資産	7,824,519	8,066,222
資産合計	42,251,939	42,332,834
負債の部		
流動負債	12,495,270	13,402,124
固定負債	8,513,419	6,645,681
負債合計	21,008,689	20,047,806
純資産の部		
株主資本	21,209,297	22,237,536
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	12,225,534	13,239,745
自己株式	△ 61,236	△ 47,208
評価・換算差額等	33,952	47,491
その他有価証券評価差額金	33,952	47,491
純資産合計	21,243,249	22,285,028
負債純資産合計	42,251,939	42,332,834

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

(単位:千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2021年3月1日から 2022年2月28日まで	2022年3月1日から 2023年2月28日まで
売上高	59,173,464	48,375,775
売上原価	46,208,973	35,947,106
売上総利益	12,964,490	12,428,668
営業収入	3,091,894	3,164,192
営業総利益	16,056,385	15,592,861
販売費及び一般管理費	14,174,667	13,689,943
営業利益	1,881,717	1,902,917
営業外収益	421,575	196,871
営業外費用	86,181	70,074
経常利益	2,217,111	2,029,714
特別利益	59,939	4,643
特別損失	886,938	423,257
税引前当期純利益	1,390,111	1,611,100
法人税、住民税及び事業税	594,198	487,727
法人税等調整額	△ 185,414	39,865
当期純利益	981,327	1,083,507

(注) 1.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
2.当事業年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値を記載しております。

会社概要/役員/株式の状況

■ 会社概要

2023年2月28日現在

商号	株式会社天満屋ストア
設立	1969年4月1日
資本金	3,697,500,000円
事業内容	食料品、雑貨、衣料品の小売業 (チェーンストア)
本店・本部	岡山市北区岡町13番16号 電話 (086)232-7265
店舗数	49店
従業員数	1,456名(うちパートタイマー等1,061名)

■ 役員

2023年5月24日現在

代表取締役会長	木住 勝 美
代表取締役社長	野 口 重 明
専務取締役	小 坂 章 壽
取締役	國 府 慎一郎
取締役	森 眞 吾
取締役	武 本 俊 夫
取締役	中 村 哲 士
取締役	山 本 愛 子
取締役	石 原 久 美子
常勤監査役	橋 本 克 弘
監査役	井 手 敬 一朗
監査役	柳 井 孝 之

取締役武本俊夫、中村哲士、山本愛子、石原久美子の4氏は、社外取締役であります。

監査役井手敬一朗、柳井孝之の両氏は、社外監査役であります。

取締役武本俊夫、山本愛子の両氏は、東京証券取引所の定めに基づき、当社が同取引所に届け出た独立役員であります。

■ 株式の状況

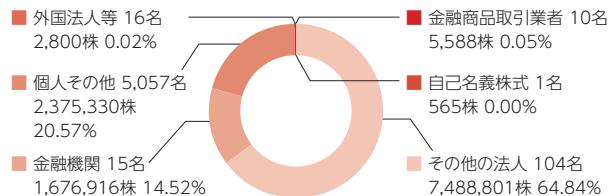
2023年2月28日現在

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,550,000株
株主数	5,203名

大株主の状況

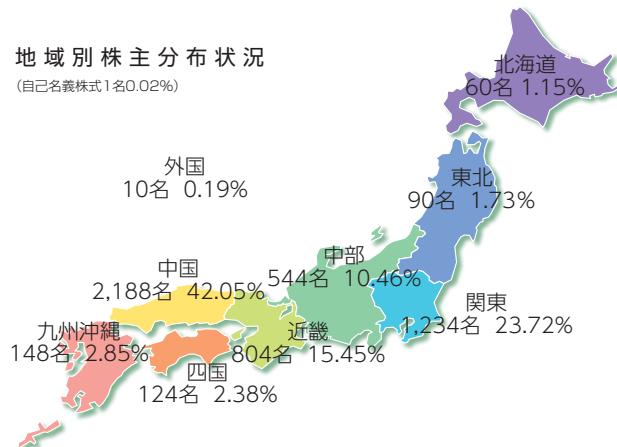
株主名	持株数	持株比率
丸田産業株式会社	2,766,000株	23.95%
株式会社イトーヨーカ堂	2,310,000	20.00
株式会社天満屋	1,474,400	12.77
天満屋ストア共栄会	911,600	7.89
株式会社中国銀行	376,800	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託04)	369,200	3.20
天満屋ストア共和会	316,900	2.74
三井住友信託銀行株式会社	181,400	1.57
みずほ信託銀行株式会社	179,000	1.55
三菱食品株式会社	168,100	1.46

所有者別株式分布状況



地域別株主分布状況

(自己名義株式 1名 0.02%)



株主メモ等

■ 株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日
定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日

そのほか必要あるときは、あらかじめ
公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先
電話照会先

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031
受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

インターネット
ホームページURL

[https://www.smtb.jp/
personal/procedure/agency/](https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/)

よくあるご質問 (FAQ)

[https://faq-agency.smtb.jp/
?site_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社
ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記の電話照会先まで
ご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よく
あるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されて
いなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀
行株式会社(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別
口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照
会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告とし、インターネット上の当社
ウェブサイトに掲載いたします。
<http://www.tenmaya-store.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由に
よって電子公告による公告ができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

株主ご優待制度

毎年8月31日および2月末日の100株以上ご所有の株主様に対し、「天満屋ギフトカード」もしくは「VJAギフトカード」を、次のとおり年2回贈呈いたします。

1回当たりの贈呈基準

ご所有株式数	天満屋ギフトカード	VJAギフトカード
100株～499株	1枚 (1,000円相当)	3枚 (3,000円相当)
500株～999株	1枚 (2,000円相当)	
1,000株～1,999株	1枚 (3,000円相当)	
2,000株～2,999株	1枚 (4,000円相当)	
3,000株～3,999株	1枚 (5,000円相当)	
4,000株～4,999株	1枚 (7,000円相当)	
5,000株以上	1枚 (10,000円相当)	

使用方法などの詳しい内容は、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.tenmaya-store.co.jp/company/ir/>



天満屋ギフトカード



VJAギフトカード